

安達会長——もう学校が始まって何か月か経ってしまいました。改めましてようこそ麻布小学校へいらっしゃいました。今日はよろしくお願いします。

山崎先生——よろしくお願いします。

●麻布小の印象●

安達——まず始めに、麻布小の印象はいかがでしたか？

山崎——(異動の)発表があったとき、港区麻布という地名のインパクトもあり、周りの教員とともに驚いてどうなることかと思いましたが、麻布小の先生方がすごくあたたかく迎えてくださって。また初日に校庭を見せていただいたのですが、きれいな人工芝と周りの緑と東京タワーの風景がすごく美しく感動して麻布小で良かったなと思いました。

子供たちにはまだ休み時間や登下校時にしか会えていないのですが、張り切って挨拶してくれる子供が多いですし、指導されているソーシャルディスタンスをきちんと守ろうとしてまじめで頑張り屋の子たちだなあと感じています。

●最初に先生になろうと思ったのは小学校時代●

安達——次はぐっとさかのぼって(笑)先生になろうと思ったきっかけを教えてください。

山崎——そうですね。小学校の時に小学校の先生になりたいと思ったのが最初です。好きな先生もいましたし、私が長女だったもので親戚にも小さい子がとても多くて、小さい子と関わっていて、自分が出来ることをしてあげたいとか、そういった気持ちがありました。

ただ一旦は普通の会社員になりました。

安達——そうですね。どんなお仕事をされていたのですか？

山崎——不動産関係の会社で6～7年働いていました。そこで働いている中でやはり自分が目指したものに對してもう一度勉強し直したいという気持ちになりました。

安達——かなりの初志貫徹ですね。小学生の時からということですね。

山崎——そうですね。あまりぶれることはなかったかなと思います。大学で中高の(教員)免許は取ったのですが、高校に教育実習に行ったときに、小学校の教員の方が向いていると感じたんです。それでも一度一般の会社を経験してからの方がいいかなと思いました。世の中の修行というか。

安達——一回不動産のお仕事をされて、それから先生になったということで経験として活かしたということ
はありますか？

山崎——電話対応は早くなりました(笑)。来客対応もわりとスムーズにできるかと思います。

安達——どおりで最近学校に電話をかけると山崎先生が素早く出てくださるので嬉しいです。

山崎——早口になりすぎないように気を付けています(笑)。

●元気いっぱい小学生の頃●

安達——先生は小学校のころから先生になりたいという気持ちを持っていらっしゃったとのことですが、
どんな小学生だったのでしょうか。

山崎——新宿区で育って、女子校だったのですが、女の子っぽくはなく、男の子のように飛び跳ねている
ことが多いような子供でした。学校から帰ると自転車を乗り回したり、マンガも好きで、年がばれますが
(笑)「ガラスの仮面」「なかよし」「ちゃお」などよく読んでいました。夕食前にバナナパフェを作って父親に
叱られたり(笑)。

安達——先ほどご自身が小学校で経験したことが先生になるきっかけになるという話でしたが、具体的
にはどんな思い出や経験がありますか。

山崎——とにかく先生方が優しくかったのと、逆に一部は反面教師として、こういうことはやっちゃいけな
いなという体験もあります。

安達——自分が教えられている時から指導者の視点で見ることができるというのは、スポーツのコーチを
している人などにもよくあるようですね。そういうのが天職なのかなと思います。

●今までの教員経験●

安達——先生は大田区の池雪小学校からいらっしゃいましたが、その前にもいくつかの学校に赴任され
ていると思います。その中で印象に残っている学校があれば教えてください。

山崎——最初の学校は単学級で、人数の少ない中で頑張っていく大変さを経験しました。2校目は大人数
で800人の学校、次はさらに増えて1000人超の学校で勤務しました。人数の多いところでは、先生方の
考え方も本当に多様であるということを実感しました。

前校の大田区池雪小学校は、5～6学級で、先生方のご意見も様々。クラスによって得意なことも様々で
いろいろ勉強させてもらったと思います。

●麻布小の PTA、地域のこと●

安達——麻布小学校の保護者とはもうお会いになりましたか。

山崎——施設開放のことなどで少しお会いしました。みなさん明るくて元気な方だなあと感じています。

安達——私が持っている麻布小学校の保護者の印象ですと、落ち着いている方が多いように感じます。近くの美味しいレストランのオーナーシェフですとか、大使館や外資系企業の方やミュージシャンの方など、いろんな職業の方がいらっやって面白い方が多いので、山崎先生にもぜひ保護者ともたくさん関わっていただいて子供たちに還元してほしいなと思います。

また、開発が進む麻布台地区ですが、地域の伝統も残っていて、「かかしまつり」もありますし、神谷町の方に行くと「八幡神社」があって、従来ですと8月にはお祭りがありますが、地域で伝統を学べる場でもあるのでぜひ子供たちにも機会を作ってあげたいなあとと思います。

●これからどうぞよろしくお願いします●

安達——最後の質問になりますが、山崎先生がこれから麻布小学校の子供や保護者とどんなふうに関わっていきたいかを教えてください。

山崎——私は教壇に立って授業をするという機会はほとんどないと思いますので、こちらから積極的に子供たちに関わっていく機会を増やしていきたいなあとと思います。保護者さまにつきましても日頃の電話応対などを通じてぜひ仲良く親しく関わりを深めていきたいなあとと思います。どうぞよろしくお願いします。

安達——こちらこそどうぞよろしくお願いします。今日はありがとうございました。



編集：PTA 広報部